

講演会

「道楽」としての文学 ～教員としての私、研究者としての私～

講師 鈴木 啓子 氏(宇都宮大学教授)

＊講師の鈴木先生は、泉鏡花を中心に、近現代の小説を研究対象とされています。学生評価による最優秀レクチャー賞を数回受賞されるなど、造詣深い講義は大変魅力的です。

講師プロフィール

1961年生まれ。お茶の水女子大学文教育学部卒業後、同大学国文科助手を経て、2007年4月宇都宮大学教育学部教授。著書に、『近代の日本文学』（放送大学出版会）、『泉鏡花・美と幻影の魔術師』（平凡社）など。

宇都宮大学に着任して26年目。私なりに、教育学部において「日本近代文学」を教える意義について考え続けてきました。文学研究者として、どういう仕事をすべきかも、日々自らに問い、自分なりの努力を重ねてきたつもりです。

「講演」と銘打つのは非常におこがましいのですが、日頃の文学研究活動（特に泉鏡花研究の営み）や大学での授業、さらには若い世代との関わりを、具体例をあげてご紹介し、今、あらためて、「文学」に携わることの意義と喜びについて考えてみたいと思います。

昨秋刊行した『マンガで楽しむ名作・日本の文学』（ナツメ社）の制作苦労話もさせていただきます。

日時 2019年11月30日（土） 10時～11時30分
（受付9時30分）

会場 宇都宮大学 UUプラザ2階

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350

（大学正門を入ってすぐ、右側にある建物です。）

交通機関 （JRバス）JR 宇都宮駅西口バス乗り場3番から
（関東バス）JR 宇都宮駅西口バス乗り場14番から
（関東バス左回り）JR 宇都宮駅東口バス乗り場から
いずれも宇大前で下車

＊自家用車でお越しの方は、正門で入構の手続きをしてから駐車場にお入り下さい。

参加費 無料

お問い合わせ chinom@cc.utsunomiya-u.ac.jp（茅野）

